

労働環境中化学物質のリアルタイム計測・濃度推定および状態変化に対応した捕集・分析に関する研究

【研究概要】

職場における化学物質の管理規制については、政省令で指示する方法から自律管理へと変更されることとなったが、当面对象となり得る物質だけでも 3,000 種を超え、物質の多くは、ばく露アセスメントに必要なサンプリング・分析方法が確立されていない。

本研究では、自律管理のためのばく露アセスメントを実施するにあたり、足りない知見を提供する事を目的とする。個別の化学物質の分析方法を開発・提示は、研究所の体制では数に限りがあり、3000 種類の極一部の化学物質にしか対応できない。そこで、リアルタイム計測の適用条件、サンプラーの改良、測定を伴わない定性的評価方法の精度向上など、特定の物質に限定しない、広く応用可能な知見を提供することを目的とする。

